

令和7年 萩市議会12月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	会派・政党	摘 要
1	9	石 飛 孝 道	立志会	12月8日午前
2	13	関 伸 久	政風会	
3	7	村 谷 幸 治	蒼成会	午後
4	3	岡 崎 隆 志	立志会	
5	15	長 岡 肇太郎	政風会	
6	14	西 中 忍	立志会	
7	4	小 林 富	蒼成会	12月9日午前
8	11	美 原 喜 大	政風会	
9	10	佐々木 公 恵	公明党	午後
10	2	浅 井 朗 太	立志会	
11	17	宮 内 欣 二	日本共産党	
12	6	松 浦 誠	公明党	12月10日午前
13	5	瀧 口 治 昭	蒼成会	
14	8	森 田 宗 和	政風会	午後
15	1	水 津 和 男	政風会	
16	12	森 田 哲 弘	立志会	

質問順位	1	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の人口減少対策について		<p>1. 萩市では、1955年（昭和30年）をピークに人口減少が続いています。</p> <p>このような、状況が続けば、まち全体が衰退してしまうことが予測されます。</p> <p>市では、「若者の働く場の創出と確保」「移住を促進する住まいの確保と提供」「出生、子育て、教育環境の充実」を3本の柱として、人口減少対策を進められています。今後、厳しい社会状況の中で様々な施策が求められると思いますが、今までの、人口減少対策を強化するための施策を考えておられるのか、お尋ねをします。</p>	
2. 越ヶ浜、明神池周辺の回遊について		<p>1. 明神池の山側の遊歩道が以前、落石が有り数年前から通行止めになっています。地元の方々から早急に整備をしていただき、通行止めの解除を求める声が多く上がっています。今後の市としてのお考えをお尋ねします。</p>	

質問順位	2	質 問 者	関 伸 久 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 市内中学生の自転車通学の条件を緩和できないか		<p>1. 市内中学生の自転車通学の条件を見直せないか。現在、萩市では市内小中学校の普通教室に加え、特別教室のエアコン設置を行う予定である。その主な目的の一つとしては、猛暑対策と判断している。</p> <p>猛暑日の多い8月は通常夏季休暇中であるが、近年、気候変動により夏日や猛暑日を記録する日数が長期化しており、平常月でも通学の負担が極めて大きくなっている。</p> <p>また、少子化により、年々子どもの数も減少しており、自転車置き場のキャパも十分あるものと判断している。</p> <p>については、自転車通学の条件を緩和することで、子どもたちの負担を軽減させ、その分の余力を勉学等に向けさせた方がいいのではないか。</p> <p>各小中学校へのエアコン設置は多額の予算を必要とするが、自転車通学の条件緩和はあくまでもルールの変更であり予算を必要としない。</p> <p>併せて、自転車事故時に備えての賠償責任保険などの加入状況についても訊ねる。</p>	
2. 市内飲食店救済のために日本版ライドシェアの早期実現を		<p>1. コロナ禍を経て、タクシー運転手や代行運転手不足を背景にタクシー等の減便が続いている。このことは夜の街の飲食店の業績に暗い影を落としており、早急な対応が必要である。</p> <p>飲食店は、他の業種に比べて開業のハードルが低いことから、人口が減少しているここ萩市においても開業が相次ぐ。しかしながら、飲食店を取り巻く環境には厳しいものがある。その理由の一つは人口減少に伴うマーケットの縮小と、もう一つは公共交通の脆弱性である。その課題をなんとか解決したい。</p> <p>これまで萩市議会においても日本版ライドシェアに関する議論が行われており、導入にあたっての問題点を認識しているつもりだが、その問題点の一つに、既存のタクシー事業者の傘下で事業を行う必要があるとの認識で間違いないか。</p> <p>その認識に間違いなければ、タクシー事業者が許可すれば、事業化は前進するか。その点をまずは確認したい。</p>	

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	<p>これまでの議論では、民業圧迫のためかタクシー事業者に配慮した答弁が目立つ。個人的には、既存タクシー事業者が日本版ライドシェアに参入した方がビジネスメリットは大きいと判断している。早いタイミングで既存タクシー事業者と協議を持つ考えがないかも訊ねる。</p> <p>いずれにせよ、タクシー等がないことを理由に萩市の夜の街が疲弊することは絶対に避けたい。人口減少を食い止めることは困難であるが、規制の緩和で経済のダイナミズムを生み出すことは十分に可能である。市長から前向きな答弁を期待する。</p>

質問順位	3	質問者	村 谷 幸 治 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 自転車走行のマナーの徹底について	1. 中高生、大人も含めて、自転車に乗る際のマナーが未だに悪いと感じたので質問します。来年の4月より青切符の対象となる違反のうち、「信号無視」や「一時不停止」といった違反を重点対象行為として取り締まります。この場合、反則金を3,000円～1万2,000円程度支払う義務が発生します。中学校、高等学校でも自転車走行のマナーの徹底がこれまで以上に必要と考えますがどうですか。		
2. 空き地の管理について	1. 全国的に空き家と共に空き地の増加が増えてきています。この度、国土交通省が自治体向けに空き地の利活用促進策や注意点をまとめた指針を策定しました。指針の策定を受けて、萩市ではこういった対応策をお考えであるかお聞きします。		
3. 栗、柿などの不用果樹伐採費用の補助について	1. ニュースなどで毎日のように目にし、耳に入ってくるクマによる被害は、人間の生命にも関わるほど、日増しにその被害が拡大しています。今、そういった動物を寄せ付けない目的で、樹木を伐採する方々が増えていると聞いています。他市に習って、補助制度を設けませんか。		

質問順位	4	質問者	岡崎隆志議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 山口あぶトマトの産地を萩市は守れるのか		1. 山口あぶトマト部会から提出された産地を守るための要望書について、現時点の検討状況を問う。	
2. 各地域の人口減少に改善の兆しはあるのか		1. 令和7年、および7年度の出生数着地見込み。 2. 地域別の出生数比較（平成30～令和2年度の年平均と令和6年度）。 3. 萩市人口ビジョンの令和7年地域別推計人口と実績値。	
3. 積雪時の除雪は早めに対応を		1. 積雪時の除雪は、路線の特徴等も考慮し早めに対応を。	

質問順位	5	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 港の安全対策		1. 海中転落時に対処するための救命用器具等について	

質問順位	6	質 問 者	西 中 忍 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 中核病院の形成はなぜ進まないのか		<p>1. 市民の命を守るために不可欠な救急医療体制の維持は、絶対に必要なことから、前市長は、萩市民病院と都志見病院の統合による中核病院形成という方向性を示し、市民の命を守る取り組みをスタートさせました。</p> <p>しかし、この市民の命に直結した重要な取り組みを、田中市長はゼロベース検討で無理やりストップさせ、その結果、全く進まない状況にしてしまい、4年以上もの無駄な時間が経過してしまいました。</p> <p>そこで、田中市長は基本合意を含めた中核病院形成が進まなくなった原因をどのように分析しているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、中核病院形成という重要な課題に対し、ご自身で今後どのような行動をとる必要があると考えているかお尋ねします。</p>	
2. 田中市政で始まった給食費無償化で、どのような効果を見込んでいるのか		<p>1. 田中市長は約1億円という多額の経費をかけ、小・中学校の給食費を無償化しています。</p> <p>そこで、多額の経費をかけ給食費を無償化することで、具体的にどのような効果を見込んでいるかお尋ねします。</p>	

質問順位	7	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域資源を活かした観光施策の課題と展望について	<p>1. 先の9月定例会における決算委員会でも萩市観光客数の実績や今後の展望について質疑がありましたが、萩版DMOが定める目標との差異や観光の現状についてこれまでもさまざまな議論や提言がありました。</p> <p>萩版DMOは観光地経営の視点に立ち、観光地域づくりのかじ取り役が期待されていますが、その役割を果たすために単年度だけでなく中長期計画の策定、組織体制や外部人材の登用の検討、観光協会主体に関わらず多くの各事業の検証や必要に応じた見直しが必要であり萩市の観光方向性を示すべきだと考えますが、市長の見解を伺います。</p> <p>2. 萩市の基幹産業である観光が目指す姿として、萩まちじゅう博物館で体感するゆったり・じっくり観光、が掲げられています。基となる萩まちじゅう博物館構想は観光だけに留まらず、街づくりや地域活動などとも連動する萩市ならではの取組だと感じています。</p> <p>本年は萩まちじゅう博覧会も開催されましたが期待される効果に対して実績、また、今後どのように特色を活かして展開していくのか課題と今後についてお聞きします。</p> <p>3. 萩市の歴史や文化などの活用にはさまざまな可能性があると感じています。先日には萩・明倫学舎を舞台とした世界遺産朗読劇が開催されて従来のターゲットに加えて戦略的ターゲットである若年層にも届く企画だったと感じています。</p> <p>今後の若年層にも広げた観光施策の切り口としてソフトコンテンツの展開も必要だと考えていますが、現状の取り組みや今後の展望を伺います。</p>		
2. 萩市における教育環境の特色と魅力化について	<p>1. 先日、山口県による県立高校再編整備計画 後期実施計画（素案）の地域説明会が開催されました。少子化を背景として再編計画が示されていますが、説明会ではさまざまな意見が出ていることを確認しました。</p> <p>各高校には歴史や特色、魅力ある教育環境があることから萩市だけでなく阿武町や長門市、周辺地域も含めて人材育成にそれぞれ大きな役割を担っていると考えています。</p> <p>今後も地域や関係者との丁寧な協議が必要と考えますが、</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	<p>本件は萩市の教育環境にも大きな影響を与えると考えます。</p> <p>これまでの説明会で出た意見などを踏まえて萩市が目指す特色や魅力ある教育環境に向けてどのような見解を持っているか伺います。</p> <p>2. 萩市ではひとづくり構想において市内高等学校の魅力化支援として市内のみならず市外や県外からも「萩市で学びたい」「萩市で子ども学ばせたい」と思ってもらえるよう取り組むことが示されています。</p> <p>特色と魅力ある教育環境づくり、そして、進学しやすい環境整備に向けた支援状況や今後の展望、萩市が目指す教育環境のビジョンを伺います。</p>
<p>3. 萩市内への就職促進につながる地元企業の周知などの支援について</p>	<p>1. 萩市内や周辺地域の高等学校を卒業する生徒たち、また、専門学校や大学を卒業する学生たちが就職を検討する際、各学校や大学により地元企業について知る機会や関わりを持つ機会が限定的になるかと思えます。</p> <p>行政や大学を主体として地元企業を知る取り組みを実施されていますが、現状の課題分析や今後の検討についてお聞きします。</p>

質問順位	8	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地元要望に対する市の方針を聞く	<p>1. 廃止か継続か。 弥富地区の農道橋のH鋼が腐食して通行止めとなった箇所への対応を聞く。このケースの方針は、市道・農道・林道等に関係があり、市全体としての今後の方針を聞く。</p> <p>2. 益田家の倉庫の屋根に凹みが生じてきた。このケースにおける修繕は、どうするのか。所有者が出来ない場合における保存についての市の方針を聞く。(腐らせるにはもったいない。)</p> <p>3. 各支所等の発電設備は完了しているか。現状と今後の計画を聞く。</p> <p>4. 須佐大温寺の曼荼羅の掛け軸が経年劣化してきている。個人所有であるが、価値ある掛け軸で保存に市としても関与する必要があると思われるが、現状（所有者との協議をしているか）と今後について聞く。</p> <p>5. 須佐・田万川地区等に観光に来られた方が、その地区を観光で周遊するタクシーが無い。予約制で対応が可能となるシステムは作れないか。例えば、自家用有償旅客運送や各ささえ隊等での対応が可能か。</p>		
2. 熊への対応は	<p>1. 全国的（東北が主流）に熊騒動がニュースとなっている。山口県及び萩市の対応方針と実態を聞く。熊の目撃件数（地域性）、人的被害件数、農産物等への被害状況等。特に人への危害防止については、どう対応しているか。</p>		
3. 訴訟行為委任事業についての現状を聞く	<p>1. 令和7年4月臨時議会で、予算可決された訴訟行為委任事業について市民の関心度も高いので、次により現状を聞きます。 (1) 現状（進捗状況）を報告してください。</p>		

質問順位	9	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 子育て支援について		1. 産後ケア事業について 2. 5歳児健診について	
2. 高齢者支援について		1. 終活支援事業について 2. 終活情報登録制度について	
3. クマ対策について		1. 目撃情報を受けての対策について 2. 猟友会との連絡体制、猟友会の技術継承の担い手確保について 3. クマと人との境がある森づくりについて 4. 幼児児童生徒への安全配慮について 5. 市民への情報提供、広報活動について	

質問順位	10	質問者	浅井 朗 太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩市から山口県への要望について	<p>1. 11月下旬、令和8年度の県の予算編成について、萩市から山口県に要望した内容についてお尋ねする。</p> <p>合計47項目のうち、以下3項目を重点項目として要望されたとのことです。この3重点項目の要望の具体的な内容はどのようなものだったかお示してください。</p> <p>以下、3重点項目の内容。</p> <p>(1) 中核病院の形成に関する支援について</p> <p>(2) 主要幹線道路の整備について</p> <p>①小郡萩道路の早期全線整備について</p> <p>特に、明木～萩間の現道活用区間では、冬期の積雪・凍結による交通障害や、浸水・土砂災害の危険性が高く、早期の安全対策が求められる。国においても災害対応の教訓を踏まえた広域道路交通計画の見直しが提言されており、早期の全線整備及び現道区間の別線バイパス整備(高規格道路)を要望します。</p> <p>②山陰道の早期整備について</p> <p>(3) 部活動の地域移行に係る財政支援について</p>		
2. 狭隘な道路アクセスに限られる地区の救急搬送体制について	<p>1. 中山間地・市街地・漁村集落地域などには、緊急車両の通行が困難な場所があります。緊急車両の内、人の搬送を行う救急搬送車両について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 現在、萩市が所有している救急搬送車両の種類と台数。</p> <p>(2) 狭隘な道路通行を強いられる地区における救急搬送時の事前対策は、どのように取り組まれているか。</p> <p>(3) 小型救急搬送車(小型多目的搬送車)の導入は検討されないか。</p>		

質問順位	1 1	質 問 者	宮 内 欣 二 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 中核病院形成と地域医療水準の確保		1. 2病院統合による中核病院形成にむけた基本合意はどうなりましたか。 2. 萩市医師会有志による要望書にどう対応しますか。 3. 2次救急医療の危機的状況とは具体的にどんな状況のことですか。	
2. 米不足・高騰を契機にどう農業再生を図るのか		1. 米不足・高騰に対する萩市の農政の方向性をどう示しますか。 2. 農地再生・米増産に向けた萩市の個別政策はありますか。 3. 米高騰に対し市の独自政策はありますか。 4. 有機農業と学校給食の連携はすすんでいますか。有機農産物を学校給食に取り入れた場合の試算はしていますか。	
3. 高齢難聴の人への補聴器購入助成制度について		1. 高齢者などの難聴者に対する補聴器購入補助制度はいつ実現しますか。 2. 補助金額など制度設計をどう検討していますか。	
4. 2つの貧困に対する萩市の取組みは		1. 「シングルマザーそしてファザー」の実態をどう把握していますか。世帯数、育てている子どもの数、就業状況、年収等経済状況。 2. 70歳以上で月収10万円以下の一人暮らしは何人おられますか。女性と男性の数。(男女しかいないわけではないけれど便宜上)。 3. 「シングルマザー・ファザー」への支援策をどう考えますか。 4. 高齢単身者への支援策はどうですか。	

質問順位	1 2	質 問 者	松 浦 誠 議 員
質 問 項 目		質 問 事 項 及 び 要 旨	
1. 狭(きょう)あい道路について		1. 狭あい道路の現状について 2. 今後の整備計画と対策について	
2. ネットでの誹謗中傷(いじめ)の対策について		1. 現状の把握について 2. 対応と今後の対策について	

質問順位	13	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 学校のプールの使用と活用についての今後の方針は	<p>1. 真冬にプールのお話をするといういささか季節感のない質問となりましたが、9月定例に引き続き予告通り質問をさせていただきます。今年の夏も、地球温暖化の影響でしょうか、全国的に連日30度を超える猛暑日が続きました。今年の暑い夏を子供たちはどのような夏として過ごしていたのでしょうか。その子供たちの夏の過ごし方にも関係がある、市内各校に併設されている学校施設としてのプールの使用についてお聞きします。</p> <p>昨年令和6年12月2日の全員協議会において、教育政策課より、民間プールを利用した水泳指導委託の実証事業として水泳の授業を民間事業者が管理するプールを利用した水泳指導委託の実証事業として実施するとの説明があり、説明のとおり令和7年度の水泳の授業は行われたことと思いますが、その実証事業については、少しの異論も差しはさむものではありませんが、その説明の折に、同時に建設後40年以上経過をしているプールの扱いについてでしょうか、令和7年度末を目途に学校プールの在り方について検討を進めその方向性を整理するとの説明がありましたが、その後どのような方向性になって行くのかをお聞きします。</p> <p>万一、廃止、の判断がされる場合、近隣に海や利用できるプールがある地域ならば、問題が無いのかもしれませんが、そういったものが無い地域の子供たちは、どのような扱いとなるのでしょうか。施設の老朽化や維持管理の困難さを理由として施設の廃止を決めていくことは、子育て、子供にやさしいまちと、はたしていえるのでしょうか。決めるのは大人ですが、大人の都合で子供たちの育成の機会を奪うような判断はいかがなものでしょうか。</p> <p>他市においては、その市の規模にもよりますが、プールの運営、管理をシルバー人材センターに委託し、市民プールを低利用料金で市民に開放している事例もあります。学校併設のプールの使用廃止が、行財政改革の一環であるのか、教員の働き方改革の中にあるのか、運営体制の事情によるものなのか、いずれにしても暑い夏を過ごす子供たちに対して、配慮のある判断を期待し、質問いたします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>2. 鳥獣害被害への対策としての職員配置についてと、長期的な視点での対策の実施について</p>	<p>1. 近年、と言うよりは昨今では連日のようにクマの出没や、人身への被害が報道されていますが、人と動物の境界線が年々薄れているように感じます。また、過疎化、高齢化が進んでいる地域ほど、その度合いを強く感じます。</p> <p>秋田県をはじめ東北地方においてはクマの出没事例も多く、死者も出ていますが、このことが今すぐ自分たちの住むまちにも起こることとは、まだ想像が働かないところですが、当市においてもクマ以外の、鹿やイノシシ、サルの被害や目撃情報は日常茶飯事ともいえる状況です。クマへの対策についての例を取りますと、自衛隊、警察、猟友会への依頼など、被害の深刻度によってそれぞれ依頼するケースがあるようですが、それぞれ本来の職務があり、猟友会の方にしても本業があり、出動対応件数の多さに苦慮をされている現状もあるようです。かつて萩市は大変に先進的ともいえる、職員によるサル捕獲隊の設置がされていましたが、これとても本来の職員としての職務がある中での設置であることからでしょうか、解散となりました。やはり駆除を専門職とする職員を正規雇用とし、鳥獣害対策班を設置して常時、鳥獣害被害への対策を強化していく鳥獣害対策の先進地として進取の気風をもった職員の配置が萩市として考えられないのか、お聞きします。</p> <p>2. 鳥獣害被害対策として集落単位での取り組みなどその成果がみられるところもありますが、依然、各処において被害は発生しています。農業生産者の意欲を無くさせないためにも、鳥獣害対策は続けていかなければなりません。その都度の対処療法だけではなく、長期的な視野に立って、鳥獣害から農地林野を守るためにも、イノシシ用の柵から鹿用の柵への変更に対する補助への実現に向けての要望や、野生動物と人里との境界線を引くために野生動物の餌となる草木の植林を人里から離れた山野に行い、動物を奥山へと追い込む事業などを計画し、市全域を最終的にカバーできるゾーン対策を実行していくことが必要と考えますが、市においては今後に向けた対策事業として、そのような考えはないのでしょうか。お聞きします。</p>

質問順位	14	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 密集地域に於ける火災予防について	<p>1. 11月18日、大分市佐賀関での大規模火災が発生しました。そこで、萩市の密集住宅地、三見、玉江、浜崎、中小畑、越ヶ浜、大井、須佐、江崎地区の密集地域での火災予防について聞きます。</p> <p>2. 離島、大島、見島地区の密集地域での火災予防について聞きます。</p>		
2. 主要地方道萩三隅線（椿町）から入る、雑式町金谷線について	<p>1. 椿町（ダイレックス）から入る雑式町金谷線の視野が狭く、雑式町から車を出る際、離合困難なことから、どちらかがバックしなければならず、県道の交通にも障害が出ています。雑式町金谷線を、拡幅出来ないか聞きます。</p>		
3. クラフトパーク（陶芸の村公園）の活用について	<p>1. 市長は、子育て日本一を目指す。子どもたちが安全に遊べる大型野外遊び場を整備（ユニバーサルデザイン遊具の整備）すると公約されました。その後の進捗状況を聞きます。</p>		

質問順位	15	質問者	水津和男議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 北浦3市合同の一次産業への取り組み	<p>1. 去る11月16日大島地区の議会報告会のおりに、ある方から「萩市をどうして良くするかが見えてこない。もっと活発な議論をして欲しい」と言うようなご意見があった。市民の方に、そのように映っていることは一議員としても大いに反省しなければならない。</p> <p>一例として、これまでは萩市の漁業をどうするかの視点で訴えてきたが、より一層効果を高めるためには広域連携を視野に取り組みをする必要があると考える。北浦3市の新人研修を合同で実施したとの情報があったが、事業面で共通課題の一次産業について強力に連携する必要があると考える。そこで、問います。</p> <p>(1) 漁業の改善には、漁礁、藻場の改善や育てる漁業、ゴミの削減回収について訴えてきました。一部取り組みをされていると思うが漁獲量が激減している中でこれまでと同じ展開では改善は覚束ないとする。長門市は養殖の取り組みが進んでいると思われる。海だけでなく、川にも漁業があり鮎・カニ・ウナギなどやゴミのことを考えると美祢市も大いに関係する。</p> <p>選択と集中の観点で、今後の取り組みに向けての考えについてお聞かせください。</p> <p>(2) 海底ゴミは魚の産卵に悪影響を及ぼしていると言います。漂着ゴミは海岸に大木やプラごみがあり又、網などの漂流ゴミがあります。離島の航路がありフェリーの航行にも影響が考えられる。量がどの程度あるかを想定し、回収計画を立てる必要があると思われる。海ゴミの回収による削減は産卵場の整備に繋がるが、併せて漁業者の収入になるような補助金制度はどのようなになっていますか。</p> <p>(3) 10月31日に大阪府泉佐野市に訪問し有機農業の取り組みについて意見交換した。</p> <p>令和6年4月から学校給食に有機農産品(オーガニック給食)を実施している。健康第一に考えれば素晴らしい取り組みであるが多くの関係者の理解を得る必要があることと価格が少し高くなることが考えられる。長門市では、一部スタートしており、耕作放棄地の活用、地域おこし協力隊の支援を仰ぐなどして実施計画を策定(マスタ</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
	<p>ープラン作成) しませんか。萩市の有機農業の現状と取り組みの方向性について考えをお聞かせください。</p> <p>(4) 後継者不足による人員確保は大変重要ですが、中々ハードルが高い。一方、現状の課題問題点の中で I C T を活用することによって多大な効果がでるものがあれば企業誘致に繋げることが出来る。萩市の現状と方向性について考えをお聞かせください。</p>
<p>2. 地域の課題や問題点の取り組み状況 (9月の一般質問の継続)</p>	<p>1. 地域によって取り組みがバラバラであると感じています。総合事務所(旧郡部)では事業化と予算付けまでされ、さらには地域調整監の配置などがあります。</p> <p>また、市内の椿東、川北、川南地区の町内会は行政とのブロック会議など意見交換され行政との関わりがあります。然しながら、大井・三見や見島などの島嶼部は地区連絡協議会があるが行事の開催などの打合せがメインであり行政との課題問題点のすりあわせは無く地域でそれぞれ改善取組することとなっています。そこで、確認です。</p> <p>(1) 地域の課題問題点と萩市の方針を擦り合わせし重要項目によっては優先順位を付けて予算化し事業推進することが本来のあるべき姿ではありませんか。</p> <p>(2) 見島地区の課題問題点について問います。</p> <p>高齢化と課題の多さは島民だけで解決できると思えない。有人国境離島交付金の利活用について強力に取り組むべきではありませんか。そのためには、制度を十分知っておく必要があると考える。まずは、勉強会をしませんか。</p>
<p>3. 萩市ふるさと大使のおもてなし</p>	<p>1. 直木賞作家 伊与原さんの本がどの程度販売されたか把握されていますか。</p> <p>繋がりをもっと太くするためにも、図書館への設置や購入を促すことは大変重要だと思います。</p> <p>2. 須佐出身の北谷さんは、頻繁に行事参加いただいています。一方で彼のコンサートなどについて、関東や関西地区への広報お手伝いはどのような実態ですか。</p>

質問順位	16	質問者	森田哲弘 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 見島地域の振興について		1. 見島宇津地区の診療所の待合室と駐車場について尋ねる。 2. 国の天然記念物である見島牛の振興と後継者育成について尋ねる。 3. 見島定住住宅によるこれからの見島地域での住宅事情への影響について尋ねる。 4. 見島宇津地区の道路幅の拡幅について尋ねる。	
2. 旧須佐中学校跡地、多目的施設の災害復旧後の整備について		1. 平成25年の東部地区豪雨災害での復旧工事後の資材置き場について尋ねる。	
3. 萩医療圏の2次救急医療の現状と必要性について		1. 萩医療圏の2次救急の現状と必要性について尋ねる。	



記者発表（配付）資料

令和7年11月27日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市総合政策部 ジオパーク推進課	肌野 次雄	堀 成夫	白井 孝明 井上 健助	(0838) 21-7765

件名	『食と大地の研究所』 ～お米の味は産地で変わる？阿東のお米食べ比べ～を開催します
----	---

食を切り口に“大地と人のつながり”に触れ、大地と向き合うことの大切さを学び、考察する体験型講座『食と大地の研究所』を開催します！今回は山口市阿東のお米を食材に取り上げます。

萩ジオパーク管内の山口市阿東地域は県内有数の米どころですが、同じ阿東地域内でもそれぞれの産地があり、生産者はその土地と向き合いながら米作りを行っています。

今回は「産地が違えば味も香りも変わる？」をテーマとし、参加者は生産者や萩ジオパーク専門員の説明を聞いて、異なる産地のお米を食べ比べながら、その違いの理由を大地の視点から探ります。参加者みんなで仮説を立てて、実際に確かめてみる実験会です。

記

1 日時

令和7年12月21日（日）

午前11時～午後12時30分

2 場所

阿東地域交流センター篠生分館

（住所：山口市阿東生雲東分74-6 ※道の駅「長門峡」側）



3 内容

●お米の産地紹介（どんな大地で、どう育てている？）

今回は阿東地域の中でも、地福地区、徳佐地区、生雲地区の3つの産地で育てられたお米を取り上げます。各地区の生産者や萩ジオパーク専門員の話の聞いたりしながら、土地の特徴やそれに合わせた栽培の工夫の仕方など、生産の知恵やお米の特徴などに触れます。

●お米の食べ比べ

各地区のお米の食べ比べを行います。産地を伏せて実際に食べてみて、どんな味なのか？どんな特徴などがあるのか？を感じていただきます。

4 参加費

大人 1,000 円、小学生以下 500 円 ※当日現地でお支払いいただきます。

5 定 員

先着 20 名

6 申 込

「萩ジオパーク推進協議会ホームページ」の申込フォームより

12月12日（金）17時 締切

7 主 催

萩ジオパーク推進協議会



記者発表（配付）資料

令和7年11月28日

所属部課	部長	課長	係長	担当	連絡先
萩市農林水産部 水産課	白神 敦司	柳井 淳治	白井 暢	小田 紀佳	0838- 25-4195

件名	萩の新ご当地グルメに！ 萩の地魚アラ活プロジェクト～萩の地魚フィッシュカレー～ お披露目会および学校給食用レシピ検討会の開催について
----	--

旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会（事務局：萩市水産課）では、「これまで捨てられていた魚のアラや骨などを活かして余すことなくおいしく食べよう」（＝アラ活）をコンセプトに、魚のアラや骨から作った様々なグルメメニューの素となる魚介スープの開発・製造に取り組んでおります。

そしてこの度、外部専門家の指導のもと、魚介スープを使用したグルメメニューの第1弾として「萩の地魚フィッシュカレー」を開発しました。つきましては、広く皆様にご提供いただくため、お披露目会を開催いたします。あわせて、学校給食メニュー化に向けた学校給食用レシピ検討会を下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

◆フィッシュカレーお披露目会について

当協議会で開発・製造した魚介スープを使用した「萩の地魚フィッシュカレー」を200食限定500円で販売します。

- 日時：令和7年12月7日（日）午前9時30分～午前10時30分
※第7回 HAGI・浜崎朝市のイベント内で開催
- 場所：萩地方卸売市場浜崎分場（旧浜崎魚市場）
- 内容：（1）挨拶：旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会 会長 長岡利憲
（山口県漁業協同組合はぎ統括支店 運営委員長）
（2）挨拶：萩市長 田中文夫
（3）事業説明：＜外部専門家＞入江誠シェフ
（4）販売（午前10時00分～・200食限定・500円）・実食
（5）コメント：長岡会長、田中市長、池田教育長
（6）キャンペーン内容の紹介
- その他：午前8時30分～午前9時30分：入江シェフ取材対応可能です。

◆学校給食用のレシピ検討会について

「萩の地魚フィッシュカレー」の学校給食メニュー化を目指して、ミシュランガイド東京2ツ星を獲得した入江誠シェフと栄養士や給食調理員と一緒に給食用のレシピを検討・試作します。

- 日時：令和7年12月5日（金）午後3時00分～午後4時30分
- 場所：山口県漁業協同組合はぎ統括支店 2階 実習室（萩市大字椿東 6446 番地 5）
- 内容：入江誠シェフと栄養士・給食調理員が給食用レシピを検討・試作
- その他：取材可・入退室自由

◆萩の地魚アラ活プロジェクト～萩の地魚フィッシュカレー～について

- Point① これまで廃棄されていた食材を活かすサステナブルな取り組み
Point② 萩の自慢の魚を余すことなく活かす 新・ご当地グルメに！
Point③ 新たな魚食普及 魚離れ対策に！

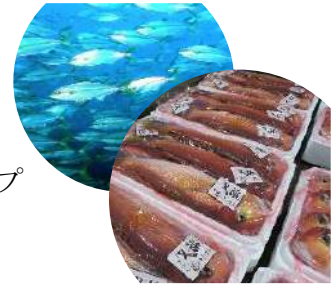


●事業開始の背景

- ①漁師からの「低利用魚」に関する相談
- ②活メアマダイの冷凍フィレ加工に伴う「未利用部位」の発生
- ③舸子 176(萩市浜崎)とご縁のあるシェフからの「フィッシュカレー」のご提案
⇒3つのキーワードから萩の地魚アラ活プロジェクトがスタートしました。
その第1弾として、大人も子どもも好きなカレーにすることで魚離れ対策に。

●今回製造した魚介スープ

- ・スープ製造元は、株式会社井上商店（萩市浜崎）
- ・全国有数の水揚量を誇る「アマダイ」と青魚を6：4で配合
- ・焼いた魚のアラ・骨を水と煮込んで骨まですり潰した魚介スープ
- ・様々なグルメメニューのベースとして応用が期待される



●外部専門家：入江誠シェフについて

- ・1975年生まれ、北海道札幌市出身。
- ・料理の鉄人、石鍋裕の名店西麻布『クイーン・アリス』で見習い後、単身フランスに渡り数々の3ツ星レストランで経験を重ね、2005年表参道『ピエール・ガニエール・ア・東京』で料理長に就任、ミシュランガイド東京で2ツ星を獲得。
- ・現在は「STELLAR WORKS Restaurant&Bar」のエグゼクティブシェフを務める。
- ・数年前から萩市浜崎で行われる HAGI・浜崎朝市や浜崎伝建おたから博物館で「フィッシュカレー」を提供し、人気を博している。



●その他

- ・本事業は、国産水産物流通促進センターが農林水産省の補助金を受けて助成する「令和7年度水産加工連携プラン支援事業」とおいでませ山口観光キャンペーン推進協議会が実施する「山口ディステイネーションキャンペーン受入体制整備事業助成金」を受けて実施されます。

以上

HAGI 浜崎朝市

第7回

提供時間
10:00~
※無くなり
次第終了

東京のフレンチレストランで
2つ星を獲得した
入江誠シェフが作る



色々選べる

美味しいもの
いっぱい!

限定200食

スूपドポワソンベースの
フィッシュカレー 500円

萩の新定番カレー。おたから博物館で食べ損ね
たあなたへ！必食です！

協力！旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会

舂子¹⁷⁶

谷口海志シェフの



長州どり
赤ワイン煮込み 600円

見蘭牛ローストビーフサンド
カヌレ・和菓子

魚の一夜干し、蒲鉾、
ちりめん、煮干しなど
浜崎ならではの海産物を販売



若手農家グループが
旬の野菜・果物を対面販売



ビストロ ようと 森本利志シェフ

牛タンシチューの
オムライス 500円

クラムチャウダー 300円

2025 12/7 日 8:00~12:00

雨天決行

駐車場近くに有

会場：萩地方卸売市場浜崎分場(旧浜崎魚市場)

海辺でお食事

海産物

(株)田槌商店
(株)増野海産
(有)三好蒲鉾

野菜・果物・シクラメン鉢植

萩市及び県内若手農家
古布小物・雑貨

飲食店

(有)小野養豚 ほっかほか萩むつみ豚まん
ミノルファーム ピザ
うふふごはん コーヒー/焼き菓子
ぺりっちょ ロールケーキ/焼き菓子
(株)いのうえ仕出し カツサンド
甘味処あんず お団子他和菓子
モコカフェ パン

相島のやさしいも/ワッフル/焼きいか/甘酒 他
(ノンアルコール)

※販売品目は当日の状況により変更もあります。



テイクアウトOK!

浜崎市場で朝食を...

「揚げたて熱々」のアジフライや
練りもの天ぷら、炭火焼き干物、
しらすの釜あげ丼、炊き込みご飯、
釜あげクリームコロッケなど
盛り沢山!



フグ入り味噌汁
あります!

子供さんOK

(株)萩・森倫館

焚き火・
木の体験コーナー



主催：浜崎しっちゃんる会

お問い合わせ：0838-22-0133 後援：萩市



萩の地魚 アラ活 プロジェクト

～魚のアラを活かした新ご当地グルメ開発～

旬の地魚がおいしいまち・萩推進協議会



事業概要

コンセプト



萩の自慢の魚を余すことなく活かすサステナブルなご当地グルメに！

目標

地元飲食店への普及 × 学校給食への普及

- 1) 魚介スープメニューのご当地グルメ確立
- 2) 地元の子どもも大好きな給食定番メニュー化
- 3) 魚の消費拡大・有効活用

事業内容

第1弾 萩の地魚フィッシュカレー




取り組みの 背景

プロジェクト開始の背景

- 1)大島まき網漁師からの相談 低利用魚
- 2)活〆アマダイの販路拡大のため、冷凍フィレ加工を検討。
捨てる部分(=アラ)が発生する。 未利用部位
- 3)“^{かこ}舸子176”(浜崎)とご縁のあるシェフからのご提案 フィッシュカレー

取り組みへの思い

- 1)加工品にすることで漁業所得の下支えに。
- 2)萩の自慢の魚を余すことなく新ご当地グルメに。
- 3)大人も子どもも好きなカレーとして提供することで魚離れ対策に。

 魚のアラを活かしたフィッシュカレーの素
(魚介スープ)の開発・製造

ご協力いただく 外部専門家



STELLAR WORKS Restaurant & Bar

いりえまこと
入江 誠シェフ

プロフィール

- ・ 1975年生まれ。北海道札幌市出身。
- ・ 料理の鉄人、石鍋裕の名店西麻布『クイーン・アリス』で見習い後、単身フランスに渡り数々の3ツ星レストランで経験を重ね、2005年表参道『ピエール・ガニエール・ア・東京』で料理長に就任、ミシュランガイド東京で2ツ星を獲得。『レストラン・イリエ・ル・ジョワイユー』で料理長を務めたのち、以前から親交のあった米澤文雄シェフの店「No Code」で月に3～5日だけ間借りし「ÉPICOUL」を営業。現在は、東京都港区青山一丁目にある「STELLAR WORKS Restaurant & Bar」のエグゼクティブシェフとして、全国の生産地に足を運び、選りすぐりの食材を伝統や国境などの枠にとらわれない自由な発想により洗練された料理で提供されます。

魚のアラを 使った魚介スープ

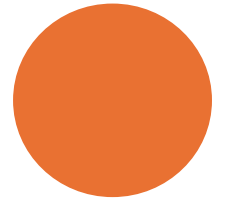
アマダイ × 青魚

「捨てる」から
「稼ぐ」へ



青魚(ヒラソなど)

青ものは時期によって変更



アマダイ

ある仲買人によると…

アマダイのアラは4～7月で約1t

毎日20～30kgでるが現状廃棄している

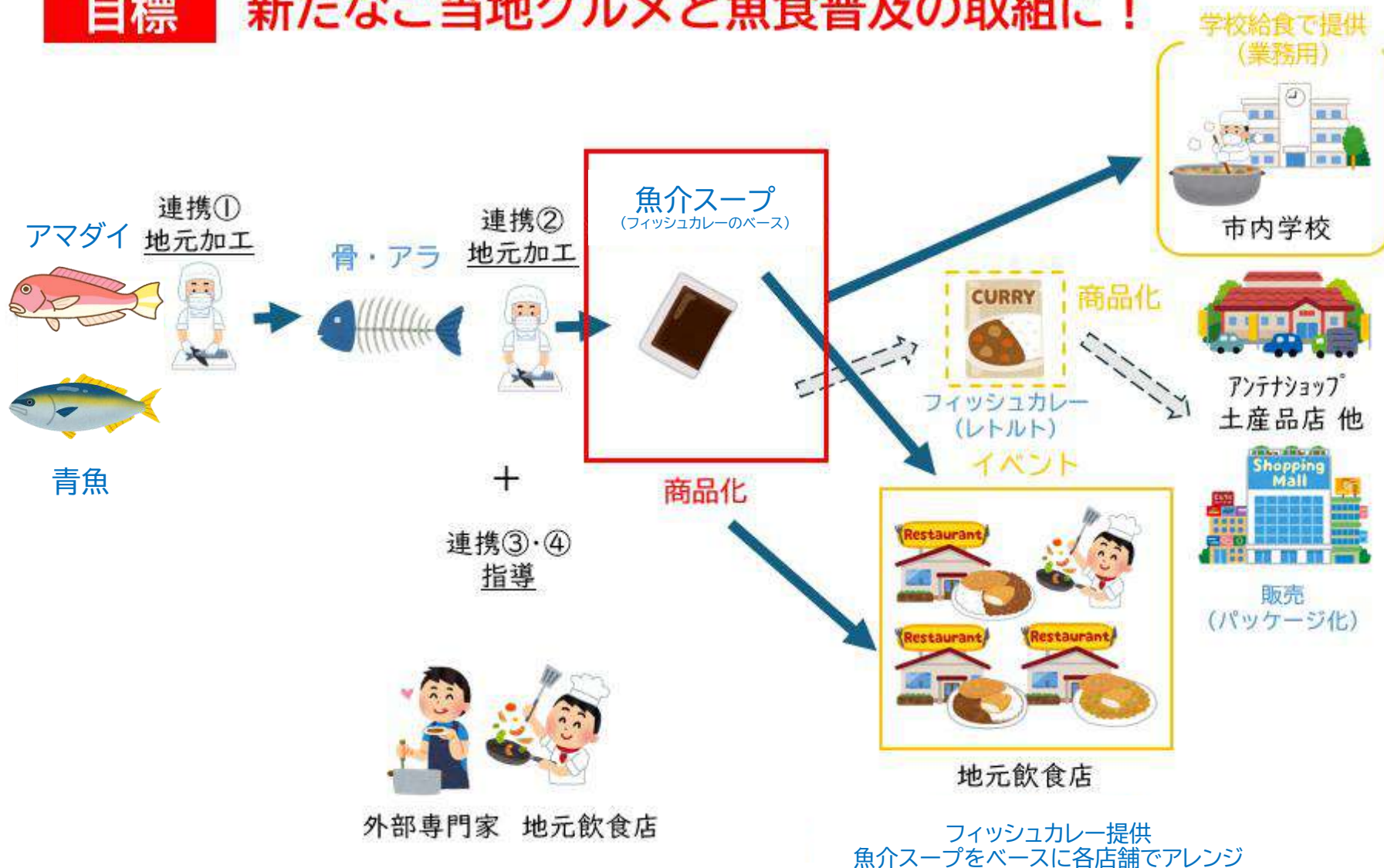


事業展開

R7年度の取り組み

- 1) スープ開発・製造
- 2) 協力店募集・フェア開催
- 3) ルール検討
- 4) 学校給食試験提供

目標 新たなご当地グルメと魚食普及の取組に！



今後の プロモーション

1) イベント提供

「HAGI・浜崎朝市」200食限定(500円)

12月7日(日)8:00~12:00(10:00~提供)

@萩地方卸売市場浜崎分場



2) フェアの開催

期間:2月3日(火)~2月17日(火) 予定

概要:市内飲食店で魚介スープを使ったカレーメニュー提供

【目標】7~10店舗

3) 学校給食への試験提供

4) 地元メディア・SNSへの情報発信